

大学の世界展開力強化事業【タイプ A-1～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～】

3大学はコンソーシアムを活用し、日中韓の間で高い学生モビリティを可能にするアジア高等教育互換制度の整備・運営で協力し、国際的な教育・評価・教務制度を整備し、大学や国の教育制度の差異を越え、学部から大学院まで接続する共同教育環境構築を一層推進する。教育面では実践型スキルを含め、留学や国際インターンシップと連動した修得を重視し、吉林大学の国際連合大学院構想や、成均館大学校の学部から大学院へ繋がる古典学課程の展開などと連携し、高度で先進的教育内容が、教育機関や国が異なっても維持される均質な教育レベル、到達レベルを外部から把握しやすく質保証と直結した客観的で厳密な評価、幅広い単位互換を実現する教務制度のすり合わせを行い可能にしてゆく(図1)。

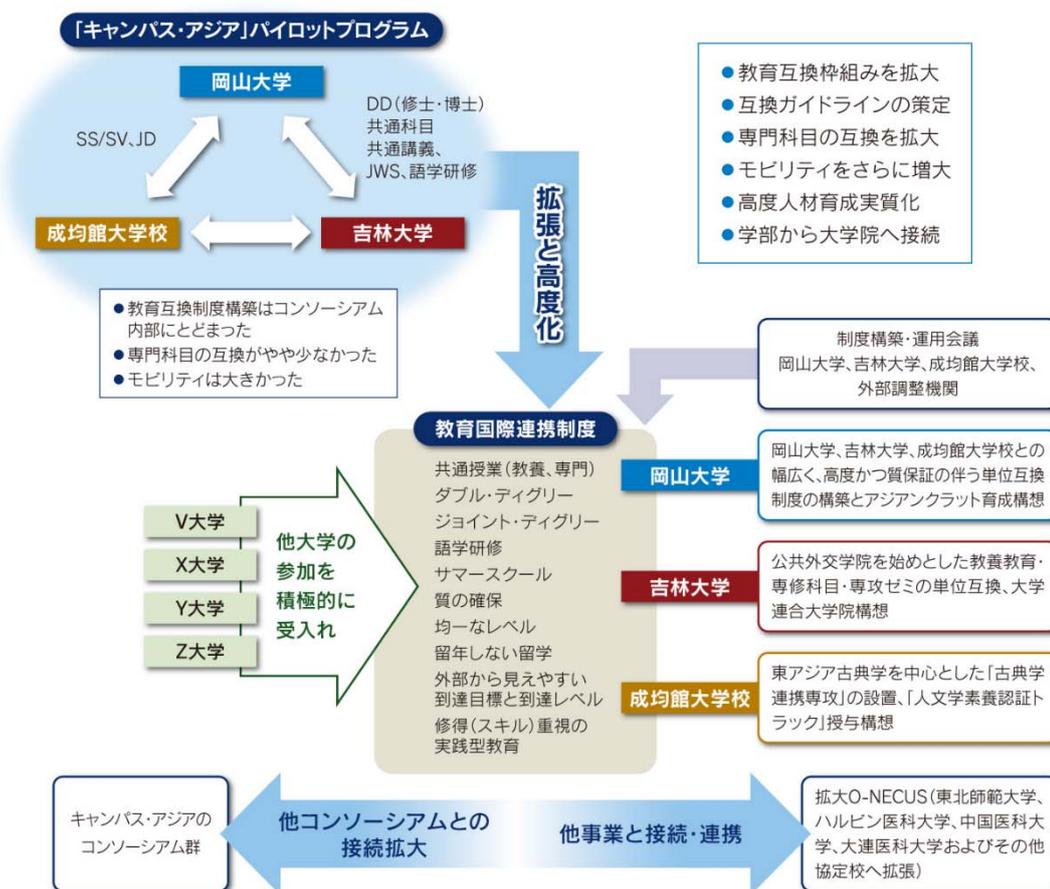


図1 日中韓学生教育総合制度モデルの拡張と高度化

3大学は本プログラムに参加する学生のモビリティが地理的にも大きく拡大し、日中韓コンソーシアム内のみならずASEAN+3、さらには欧米諸国にまで拡大し、東アジア高等教育圏が形成される将来をにらみ、東アジアの発展に資する専門的知識・能力を備え、圧倒的な就職優位性を持つ人材として東アジアの次世代を担う中核的専門職業人(アジアクラット)の育成拠点および国際人材交流ネットワークの拠点となることを目指す。

このプログラムでは、以下の能力・資質を備えた学生を、東アジアからアジア全域で活躍でき、就職優位性を備えた次世代中核的専門職業人と規定し、アジアクラットと呼称する(図2)。

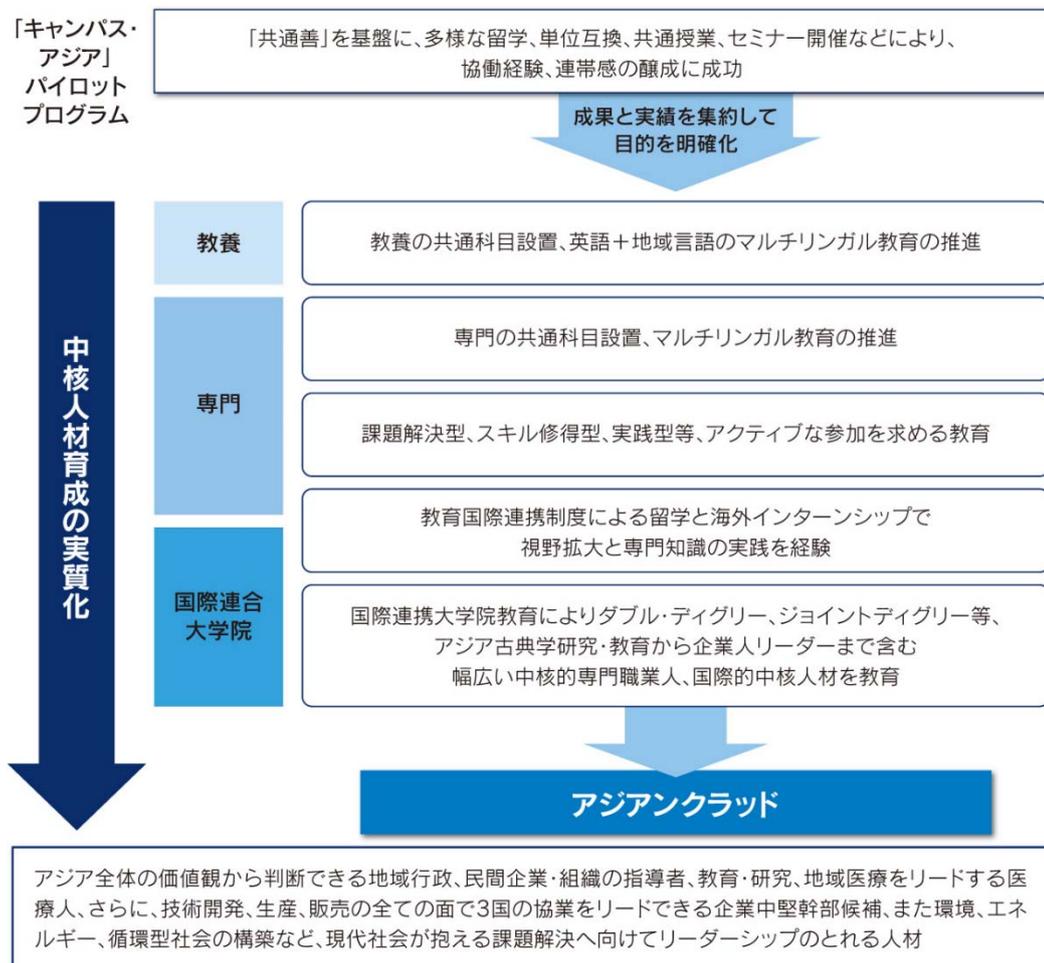


図2 アジアンクラットの育成